



(社)日本技術士会 中部支部内 愛知県技術士会事務局

〒450-0002 名古屋市中村区名駅五丁目4番14号 花車ビル北館6階

TEL(052)571-7801 FAX(052)533-1305

URL <http://www.mmjp.or.jp/chubu-IPEJ/aichi.html> MAIL g-chubu@asahi-net.email.ne.jp

「巻頭言」

暦の上ではもう立秋、残暑お見舞い申し上げます、というべき時候となりました。連日の猛暑の中、例年どおり高校野球も始まりましたが、今年の愛知県は、なによりも「愛・地球博」で盛り上がっています。

中には「壮大な地方博」などと口の悪いことを言う方もお見えですが、予想を上回る人出を記録しながら、リコモなどの交通機関もそれなりに順調に機能しており、大きな事件もなく、まずはめでたいことと思います。

評価はいずれ歴史が下してくれること、会期も2ヶ月をきりました。まずは何かのかたちで参加して、それから秋の夜長を議論で過ごしてみたいものです。

「湖海の士」

「四国遍路」

安藤雅彦（建設、総合技術監理）

シニア会の皆様方には、二番煎じになりますがご容赦下さい。

十年くらい前に四国遍路の体験談を読み、いつかは自分もやってみたいと夢に描いていました。最近、身体の衰えを少しずつ感じ始めていて、もう今しかない、これ以上遅らせたら、行けなくなるといふ危機感を持って、会社に無理な休暇をお願いし、昨年三月、遂に決行した。

遍路の前日、名古屋から高松まで新幹線とマリナーライナー、高松から普通

列車に乗り、坂東駅で降りる。荷物を民宿に預けると、早速、第一番霊山寺へ遍路用品を買いに行った。この寺には、歩き遍路用のノートが置いてあり、毎日二十人くらいの人が歩き遍路に出発しているようだ。

遍路をしている間は、次のことをしようと誓いをした。

一、坊主頭にする

二、禁酒

三、会う人ごとに挨拶をし、できるだけ多くの人と話をする

四、不平・不満を言わない

一日目 晴れ。第一番から第六番まで、歩行距離 15.0km。最初から飛ばすとマメができたり、足に故障を起こしたりする危険があるので、最初の日は足慣らしでゆっくり、又、早めに宿へ着くようにした。

六時二十分 起床、

七時 朝食。宿から握り飯のご接待。

七時四十分 出発。

一五時五分 民宿着

出だしの遍路道は普通の道であったが、極楽寺からは墓地の真ん中を横断している。次にあぜ道（幅30cmくらい）を進んで金泉寺に続いている。朝は寒かったのが、たくさん着込んでいた。晴天であったが、時々雪が散らつき、歩いていないと寒かった。

二日目 晴れ 第七番から第十一番まで、歩行距離 23.1km

六時 起床、

六時三十分 朝食。宿からマッチと五

七時一五分

出発。円玉のご接待。

十六時三十分 民宿着。

朝方は寒いので雨衣を着る。吉野川の橋ですれ違った自動車の男性（五〇歳くらいの紳士風）から100円のご接待。この橋は沈下橋と言って、大雨のときは橋が水中に没するため、手すりがない。一車線の幅で、所々にすれ違いができるように拡幅されている。自動車 came ので、その拡幅部で待っていたら、その車は私の前にとまり、男性が頭を下げながら両手で何かを差し出してきた。千円札だった。お接待があるとは聞いていたが、こんな大金をまだ遍路を始めての二日目の新米の私にしていただけとはと、びっくりした。ジーンときて、涙が出るほど嬉しかった。早速、慣れない手つきで納札を渡した。白色の納札でも喜んで受け取ってくれた。



お接待をしてもらうと、納め札を渡すのがしきたりで、昔は、もらった納め札を儀に詰めて玄関口にぶら下げ、厄除けを祈願していたそうだ。Scam Scamくらいの紙切れで米俵を満たしたのだから、お接待の回数もすごいものだ。

■納札の種類

白 一々四回の遍路
緑 五々七回の遍路
赤 八々二四回の遍路
銀 二五回以上の遍路
金 五〇回以上の遍路
錦 百回以上の遍路

すべてを書くとしても紙面が足りないものでこのくらいにするが、このような調子で第八八番大窪寺まで廻った。

通常、四五日くらいで廻るとされているが、私の場合は、番外霊

場を含めて約100日を五五日かけて廻った。森の静けさに吸い込まれそうな星の岩屋、まだ雪の残る霊峰石鎚山(1970m)、空海ゆかりで日本最大の溜め池である満濃池、石段でも有名な金刀比羅宮など。

その後、もう一度第一番霊山寺へお礼参りをし、和歌山の高野山へも参拝した。雨の日も歩き続け、一日も休まなかった。帰宅して、荷物を解く前に、玄関で般若心経を唱えたが、感極まって涙が込み上げてきた。妻は、わざと玄関へ出てこなかったようだ。結願の一週間くらい前には、いよいよ遍路も終わりかと少し淋しい気がした。

四国の自然(森、里、川、海など)は人間をやさしく包んでいて、このやさしさを四国の人たちも持ち合わせているように感じた。

四国の多くの人から、百円玉、アメ、チョコレート、あんパン、菓子、ジュース、土佐文旦などのお接待や温かいもてなしを受けた。地図を広げていると、向こうから親切に道案内をしてくれる。私に両手をあわせて拝む老女に何人も出会った。お陰で遍路を辛いとは思わずに、やり遂げることができた。これからは、私がまわりの人にお陰を与えていける人間になっていきたいと思う。

一步一步の積み重ねがやがて大きな仕事に結びつくことを体で実感した。88ヶ先のお寺でも、数百メートルの高さの山でも、一歩一

歩進めば必ず到達する。急いではないけない。慌てたり省略したりすることは事故の元。確実な一歩が大切だ。今までの生きざまが今ここに表れている。あまり足を使っていない人が急に歩くと、マメができたり、膝や足首を傷めて棄権する。同じことは、仕事にも言える。

一所懸命に生きてきた人は、それ相応の仕事ができる。どんな仕事でも、小さなことの積み重ね。畑仕事のクワワークで豊作が期待できる。(以上)

(次回は澤栗裕二先生にリレーします)

「お知らせ」

■入退会者

前号より平成17年7月末現在まで、新たな入退会者はありません。

■愛知県技術士会第2回例会

日時 8月20日(土)

午後1時より受付

場所 名古屋国際センター

公演 三階第3研修室

講師 環境調和型新材料の創製

名古屋大学大学院教授

金武直幸先生

※当日は交流会も予定あり。

■愛知県技術士会第3回例会

日時 10月15日(土)

午後1時より受付

場所 名古屋国際センター

場所 名古屋国際センター

三階第3研究室

発表 情報工学、応用理学、農業部門における業績発表

※当日は交流会も予定あり。

※本号に第2回例会の申込用紙が添付されています。愛知県技術士会ホームページもご覧下さい。

「編集後記」

本号がPDFによる第2回目の会報配信になります。前号では操作が思うようにならず、途方にくれましたがPDF化については、幸いこれまでのところ、否定的なご意見は頂いておりません。

今後、グラフィックを用いて内容を充実していきます。

そのためにも、皆様からの投稿をお待ちしております。PDF発信であるため、基本的には原稿のページ数には、大きな制限はありません。内容も業務の中で感じたことや、趣味のエッセイなど、なんでもかまいません。写真や図版も掲載可能です。ご投稿文は、ワードあるいはテキストで、写真や図版は、JPGでお送り頂ければ助かります。送り先は、愛知県技術士会事務局にお願いたします。安藤先生のお言葉にもあるように、一クワ、一クワを積み重ねて、実りある会報を、皆さんとともに作っていききたいと念じております。

(事務局 西脇正倫)



霊山寺門前にて

各位

愛知県技術士会平成 17 年度第 2 回例会講演会開催のお知らせ

社団法人日本技術士会中部支部 愛知県技術士会

代表幹事 柴田素伸

担当幹事：中川（宗）、森澤、中西

恒例となりました愛知県技術士会第 2 回例会「講演会」を下記の要領で開催予定です。

今回は、名古屋大学大学院工学研究科教授 金武直幸先生に、「環境調和型新材料の創製」と題して講演いただきます。環境万博ともよばれる愛・地球博が開催され、環境に対する関心が高まっている今、時宜にかなった講演です。ぜひともご参加ください。

記

● 日時 平成 17 年 8 月 20 日（土）13：30～17：00（受付は 13：00 より）

● 場所 名古屋国際センター 3 階第二研修室

● 時間

1) 挨拶 : 13：30～13：40 柴田素伸代表幹事

2) 講演 : 13：40～15：10

演題 : 「環境調和型新材料の創製」

名古屋大学大学院工学研究科マテリアル理工学専攻 教授 工学博士 かねたけ金武 なおゆき直幸 様

3) 質疑応答 : 15：10～15：30

4) 休憩 : 15：30～15：45

5) 技術交流会 : 15：45～16：45 （場所：同一会場）

● 会費：2,000 円（会員外 3,000 円）

☆当日会場受付にてお支払い頂きます

☆技術交流会は情報交換の場として、飲み物とつまみ類を用意しています。

● 参加申し込み先 愛知県技術士会【中部支部内】

☆FAX の場合、この用紙に氏名、部門、愛知県技術士会会員・非会員の別を記入してお送り下さい

☆e-mail の場合、「講演会出席」と明記の上、氏名、部門、愛知県技術士会会員・非会員の別を記入してお送りください

FAX：052-533-1305 または e-mail：g-chubu@asahi-net.email.ne.jp にてお願いします

講演会出席申込書

氏 名	
部門（または所属）	
愛知県技術士会会員・非会員（○を付けてください）	

以 上